

授業構想シート(例)

第1学年 第 回 道徳 令和 年 月 日() 時間目

1 主題 誠実な行動

内容項目 A 自主、自律、自由と責任

内容項目間の関連性
C 遵法精神、公德心
「人に迷惑をかけなければいいのか」

2 主題設定の理由

道徳的価値観

自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。
「自律の精神を重んじ」とは、他からの制御や命令を待つことなく、自分の内に自ら規律を作り、それにしがって行動しようとする気持ちを大切にすることである。「自主的に考え、判断」するとは、他人の保護や干渉にとらわれずに、善悪に関わる物事などについて幾つかの選択肢の中から自分で最終的に決めることである。「誠実に実行」するとは、すがすがしい明るい心で、私利私欲を交えずに真心を込めて具体的な行為として行うことである。
自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもつことが道徳の基本である。自らの規範意識を高め、自らを律することができなければならない。

生徒観

中学生は自立を求め一方、友人関係においては同調圧力が生じやすく、周囲の目を気にして他人の意見に左右されることも少なくない。また深く考えることなく自分勝手に無責任な行動をとることもある。そこで、生徒には本時の授業の中で、どのように判断し、行動すると良いのかを考えさせたい。

教材観

教材名：裏庭でのできごと
ガラスを割ってしまった中学生三人の判断と行動を題材とした教材である。特に、友人関係と自己の責任との間で悩む健二に着目し、その言動からねらいに迫る。また、悩んだ末に自ら結論を出した健二の姿から、誠実に生きることの喜びや充実感を見出すことができる。

【評価の視点】

視点1：一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか

- ①道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしている
- ②自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている
- ③複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を広い視野から多面的・多角的に考えようとしている

視点2：道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか

- ④読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている
- ⑤現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直している
- ⑥道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解を更に深めている
- ⑦道徳的価値を実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている

人間としての生き方について考えを深めているかどうか

3 本時のねらい

自分の行動に伴う責任を誠実に果たそうとする

判断力 ・ 心情 ・ 実践意欲と態度 を養う。

4 本時の学習指導過程

	学習活動・主な発問	評価とフィードバック						
導入	○場面絵(別冊道徳ノートP.1)を見せ、自分に照らし合わせる。 「こんな自分はいないだろうか？」							
展開	<p>〈資料を読む〉 〈内容を整理する〉 ○3人はそれぞれどんな人物だろう。</p> <table border="1"> <tr> <td>雄一</td> <td>正直な人、まじめな人</td> </tr> <tr> <td>健二</td> <td>気が弱い人、優柔不断な人</td> </tr> <tr> <td>大輔</td> <td>自分勝手な人、うそつきな人</td> </tr> </table> <p>◎健二に正直に「謝りに行くべきか」、「行くべきでないか」、アドバイスをするとしたら、<u>どう言いますか。</u> ※ タブレットで「行くべき」→青、「行くべきでない」→赤というカードを作って、提出ボックスに送る。</p> <p>行くべき ・言わないとモヤモヤするよ。 ・後でどうせバれるよ。 ・人として行くべきだよ。</p> <p>行くべきでない ・行ったらすぐ怒られるよ。 ・大輔を裏切ってもいいの。 ・わざわざ面倒ごとを増やさなくてもいいよ。</p> <p>行くべきだと思っても、気になる、悩む</p> <p>○正直に言いに行く決めて職員室に向かう健二は、どのような顔をしていただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・覚悟を決めた顔 ・スッキリした顔 ・不安がなくなって安心している顔 <p>2択で良い？ 「行くべきけど…悩む」 ような考えを取り上げたい</p> <p>行 ← ● ● → 行かない 行くべき度</p> <p>それでも言いに行くべきだと決意した強さ</p>	雄一	正直な人、まじめな人	健二	気が弱い人、優柔不断な人	大輔	自分勝手な人、うそつきな人	<p>それぞれの立場について理解する【指名】</p> <p>揺れ動く健二の気持ちに共感できているか【机間支援、言葉掛け】</p> <p>全体で発表 友達の多様な意見を踏まえながら、健二の心の葛藤を深めていく【挙手発表、意図的指名】</p> <p>単純な2択ではない 微妙な感情をどうするか</p> <p>健二の心の変化を捉え、正しく行動すると自分自身に良い変化が現れることを捉える【挙手発表】</p>
雄一	正直な人、まじめな人							
健二	気が弱い人、優柔不断な人							
大輔	自分勝手な人、うそつきな人							
終末	<p>○自分の行動を振り返り、心の弱さが出てしまいうなどとき、どんなことを大切にしていきたいですか。(振り返りシートに記入する)</p> <p>目指す学びの姿と認められる振り返りの記述例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分だったら、ラッキーだと思って言いに行きたくないと思ったけれど、それではだめだと気付いた。【多】 ・正直に言うことで、みんな気持ちよくなるという意見を聞いて、なるほどと思い、自分も正直さを大事にしたいと思った。【自】 	<p>今までの自分の生き方を見つめ直し、気持ちの弱さを自律的な判断、誠実な態度で克服することの大切さを考える【振り返りの記述】</p>						

※ 色付きの記述は、指導者と研究員が授業構想を行った際に追記したものを。